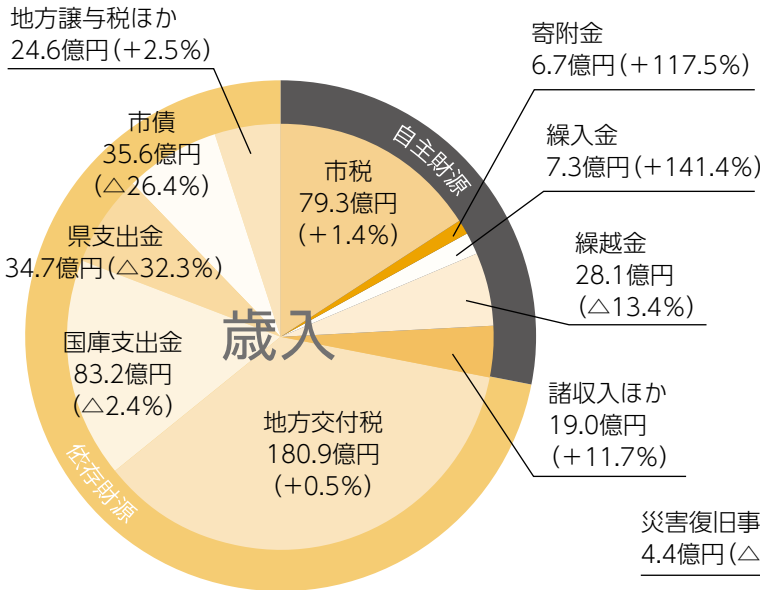




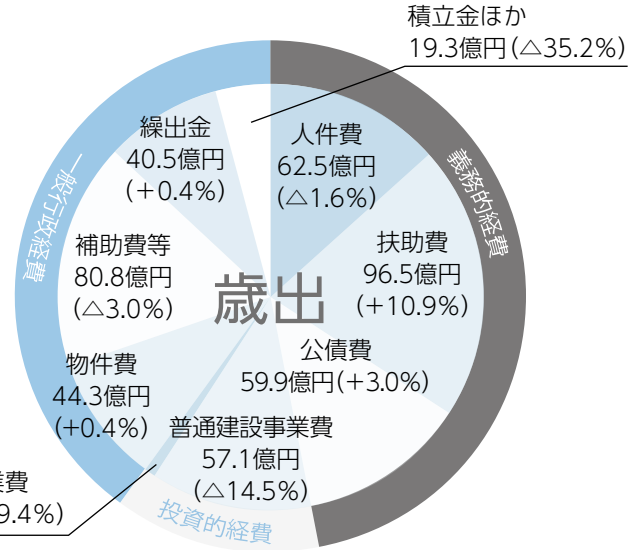
令和5年度の決算状況をお知らせします。

令和5年度 宇和島市の財政状況



499.4億円

市税などの自主財源は140.4億円(前年比+4.9%)、地方交付税や国庫支出金などの依存財源は359.0億円(前年比△7.7%)となり、全体としては499.4億円(前年比△4.5%)となっています。



465.3億円

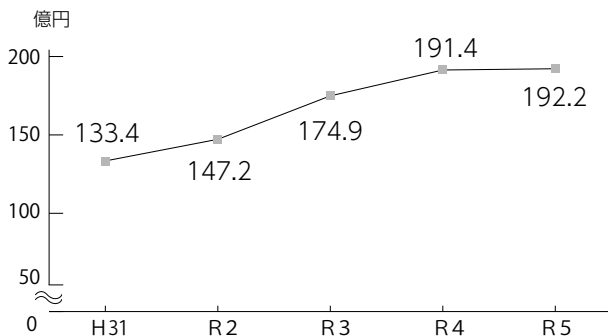
人件費や公債費などの義務的経費が218.9億円(前年比+4.9%)、投資的経費が61.5億円(前年比△30.3%)、物件費や補助費等などの一般行政経費は184.9億円(前年比△6.4%)となり、全体としては465.3億円(前年比△5.9%)となっています。

- ▶ 歳入と歳出の差額は34.1億円となり、黒字となっています。このうち翌年度に繰越して執行する事業に必要な財源は11.4億円(前年比+29.5%)となり、実質収支額は22.7億円です。
- ▶ 前年度は、新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策に29.7億円、平成30年7月豪雨災害の経費に4.6億円を使用しました。

■市の貯金 (積立基金残高)

市はさまざまな目的のために資金を積み立てています。

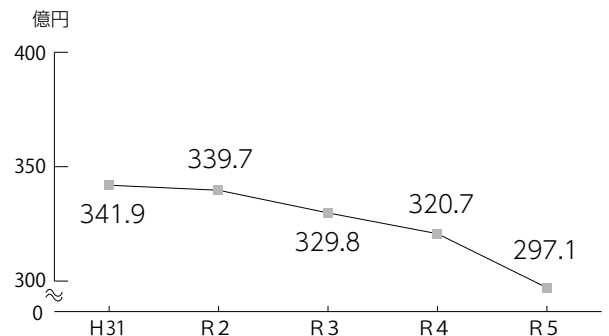
192.2億円(+0.8億円)



■市の借金 (市債残高)

市が大きな事業をするために必要な財源で、多世代で利用する施設などを公平に負担する役割もあります。

297.1億円(△23.6億円)



■各会計決算額

(単位：百万円)

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	50,601	47,195	3,406	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	9,775	9,260	515
	国民健康保険（直営診療施設勘定）	168	168	0
	後期高齢者医療	2,368	2,322	46
	介護保険（保険事業勘定）	10,533	10,071	462
	介護保険（介護サービス事業勘定）	45	45	0
	財産区管理会	22	17	5
	土地取得事業	155	155	0
	住宅新築資金等貸付事業	186	186	0
	小規模下水道事業	97	97	0

※用語解説など詳しくは市ホームページで確認できます。

■財政健全化に関する指標

健全化判断比率と資金不足比率は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。

また基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。市の比率は次のとおりで早期健全化・財政再生の基準を超えるものではありません。

(単位：%)

比率区分	H31	R 2	R 3	R 4	R 5	R 5 早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字	-	-	-	-	-	12.01	20.00
連結実質赤字	-	-	-	-	-	17.01	30.00
実質公債費	4.0	3.7	4.1	5.3	6.2	25.00	35.00
将来負担	-	-	-	-	-	350.0	

【資金不足比率】公営企業ごとに資金不足額をその企業の事業規模で割った比率です（経営健全化基準20.0%）。公営企業会計（水道事業会計ほか4事業会計）について、資金不足はありません。

主な事業

通常事業



▶津波避難路等整備



▶RUC POINT事業



▶旧石応小学校跡地利活用事業



▶公園遊具更新工事

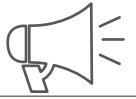
コロナ・物価高騰関連



▶こども応援券事業
地域とつながる商品券事業



▶水道料金減免事業

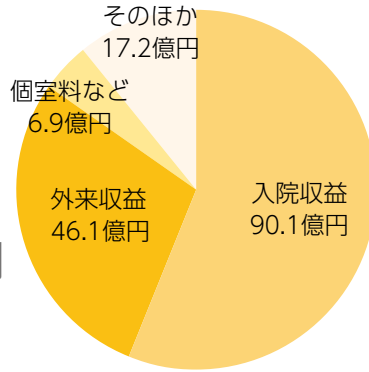


病院事業

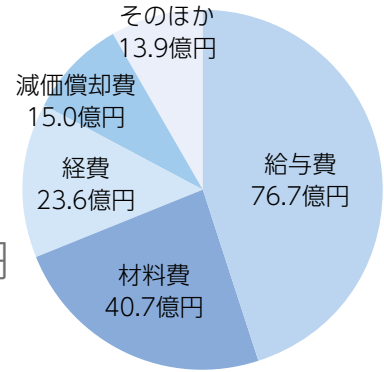
当年度はコロナ医療と一般医療を両立した医療提供体制の構築に努めましたが、3病院ともに赤字となりました。

事業運営のための
経費(収益的収支)

収入
160.3億円
(△2.3%)

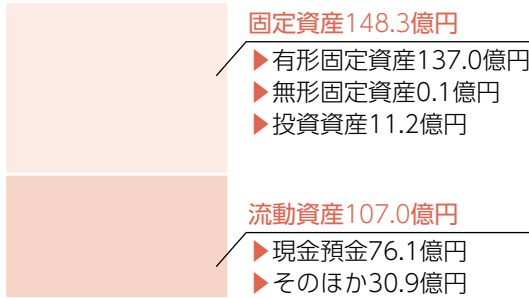


支出
169.9億円
(+4.7%)

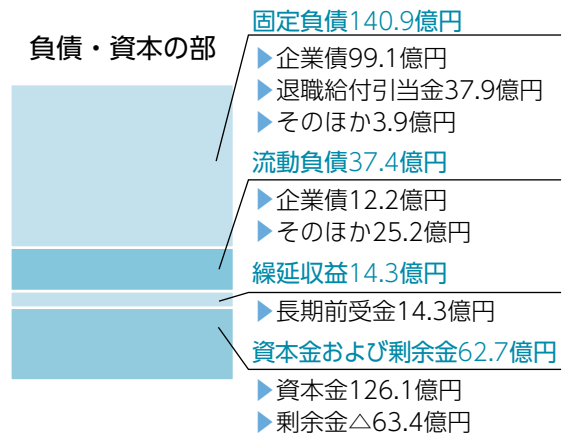


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

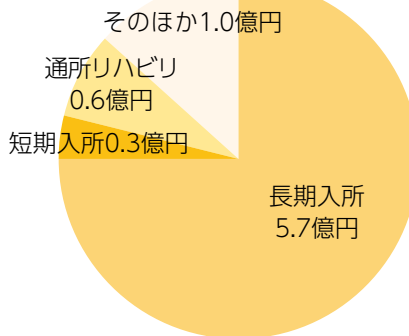


介護老人保健施設事業

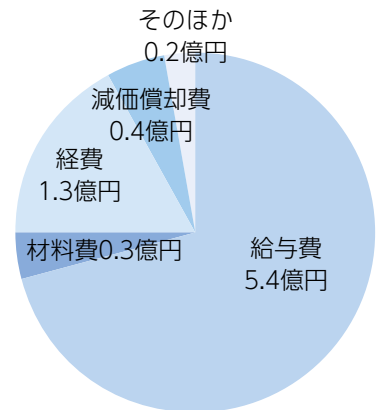
老健は経営改善を図っていますが慢性的な赤字体質を解消できず、一般会計からの繰り入れを受けています。

事業運営のための
経費(収益的収支)

収入
7.4億円
(+1.2%)

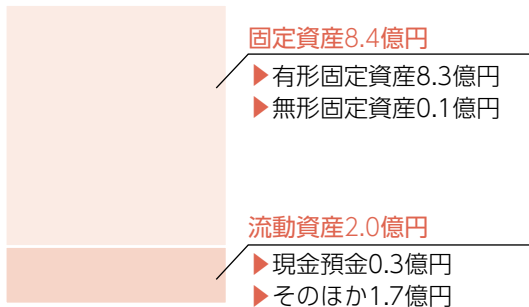


支出
7.6億円
(+4.3%)

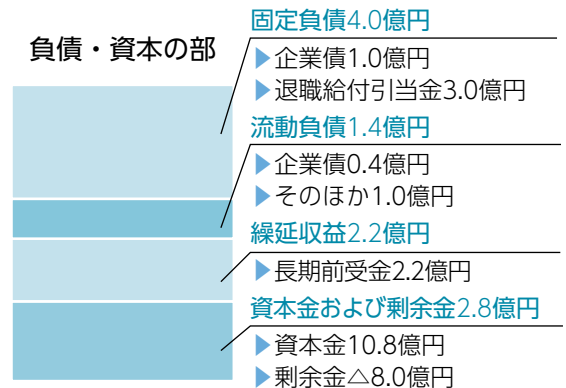


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

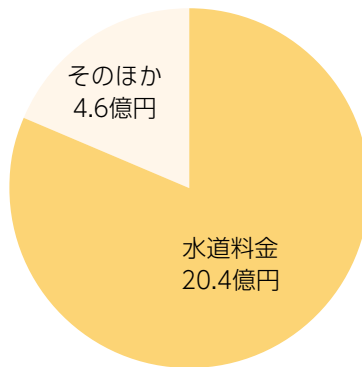


水道事業

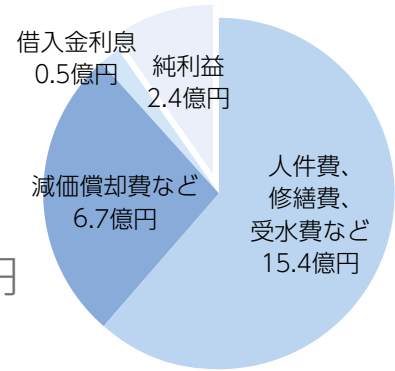
給水人口の減少により収入は減少していますが、一方で冬季の漏水に伴い受水量が抑制されたことなどにより支出も減少したため、純利益は前年度と比較して499万円の増加となりました。

事業運営のための
経費(収益的収支)

収入
25.0億円
(△0.2%)

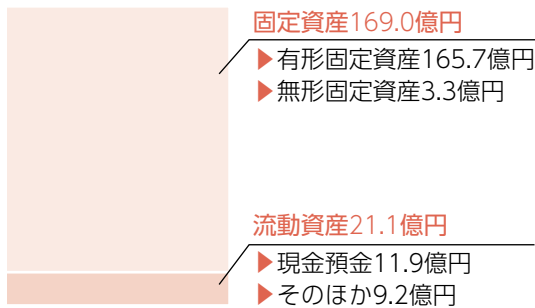


支出
22.6億円
(△0.4%)

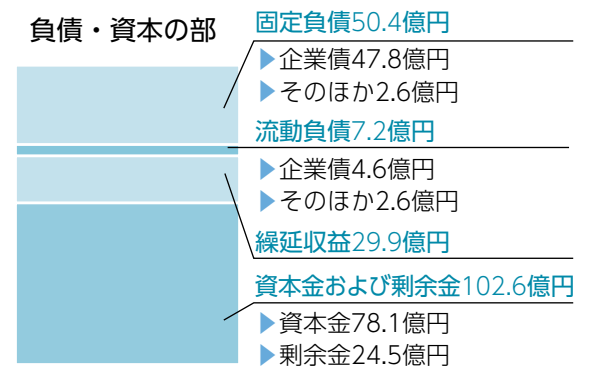


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

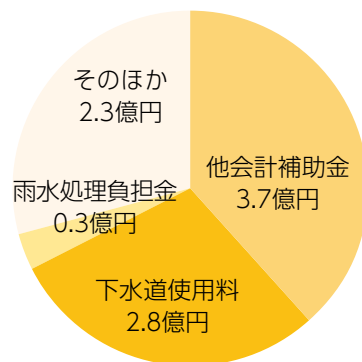


下水道事業

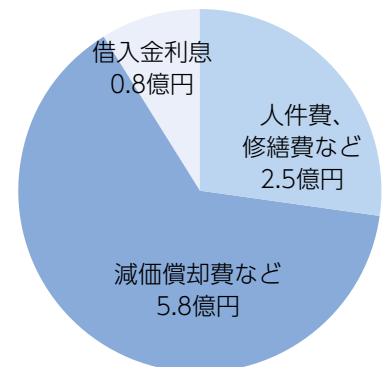
使用料収入は前年並みです。維持管理費などの経費削減や施設更新への計画的な投資を引き続き行っていきます。

事業運営のための
経費(収益的収支)

収入
9.1億円
(△5.1%)



支出
9.1億円
(△3.9%)



貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

